

3月10日イベント

3月10日に、 体験者と空襲を語り合う

(展示見学&空襲体験を聞く会)

1945年3月10日、東京。

B29の焼夷弾爆撃によって、一夜にして約10万人の人びとが犠牲になり、下町一帯は焼け野原になりました。

あの日から、73年。

空襲を体験した方たちは、年を追うごとに少なくなっています。

そんな今だからこそ、空襲の歴史・体験を受け継ぎ、さらに次の世代に伝えていかなくってはなりません。

東京大空襲・戦災資料センターでは、3月10日に、空襲を体験した方と一緒に、展示を見学し、当時の暮らしや空襲体験などについて語り合うイベントを開催します。

この機会に、体験者と交流し、空襲の歴史や体験を学び、「平和のバトン」を受け継ぐことにチャレンジしてみませんか。

詳細は下記の通りです。

ぜひ、ご来場ください。

<記>

日時： 2018年 3月10日(土) 14:00~16:00

場所： 東京大空襲・戦災資料センター (江東区北砂1-5-4)

参加費(入館協力費)

：一般300円、中学生・高校生200円、小学生以下無料

*当日は約5名の空襲体験者がおります。

お話を聞きたい／お話ししたい方は、お気軽にお声かけください。

*予約不要です。

*センターまでのアクセスはホームページをご確認ください。

*お問い合わせは03-5857-5631(戦災資料センター)まで。